



イジュ [伊集]

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 国内外来種



科名 ツバキ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

6～7月（沖縄では5～6月）頃に花茎4cmほどの白い花をつける。花序にいくつも蕾をつけて次々に咲いていく。新梢は赤みを帯びて美しい。沖縄、奄美大島及び東南アジアに分布するツバキ科の常緑高木。関東南部以南で配植できる。小笠原によく似たヒメツバキがある。



Memo

小笠原の葉に鋸歯がない「ヒメツバキ」と沖縄の鋸歯のある「イジュ」は、同種説と別種説がある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期						■							
果 実											■		
紅 葉						■ (新葉が紅葉する)							
施 肥		■											
剪 定								■					

好みの環境			
日当り	陽	○	陰
土 壤	乾	○	湿
寒 さ	強		弱
暑 さ	強	○	弱
潮 風	強	○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○					

ポイント

通風の良い肥沃地を好むので腐葉土を充分敷込み高植えが適する。根元が乾燥すると衰弱するのでマルチング材などで覆うとよい。実がたくさんついたら、摘果して木の負担を軽くするとよい。

剪 定

葉、花ともに、枝先に束生するようにつけるので、刈り込むと樹形を損なう。枝抜き剪定にて、枝が分岐する箇所での剪定する。花が終わったら、花殻を取り早目に剪定すると美観を保てる。

病虫害

ツバキ科の植物は、チャドクガが発生するため敬遠されやすいが、発生初期の幼虫は日中、葉の裏側に隊列を組んでいるので、比較的除去しやすい。